会議報告/JEMEA WG 活動報告



マイクロウェーブ展 2020 報告

Report on the MWE 2020

中部大学工学部 藤井 隆司 Chubu University Takashi Fujii 〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 e-mail: fujii@isc.chubu.ac.jp

2020年11月25日から12月28日まで、マイクロウェーブ展(Microwave Workshops & Exhibition 2020: MWE 2020)が開催されました(リアルタイム配信は11/25から11/27)。 当初は例年通りパシフィコ横浜で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の影響でオンライン開催となりました。MWE 2020では、オンライン展示会とマイクロウェーブワークショップが開催され、今年度、私が部会長を務めさせていただいている JEMEA 若手部会ワーキンググループとしまして、この MWE 2020のマイクロウェーブワークショップにて「若手研究者が主導する次世代マイクロ波加熱応用」として参加致しました。

ワークショップは、11月25日~27日の3日間で行われ、各セッションは、Zoomウェビナーを使用してリアルタイム配信で行われました。事前にMWE 2020のWebページから参加の申し込みを行った上で、時間になったらセッションに接続して視聴するといった方法で行われました。私達のセッションは、11月26日 14:00~16:00に行われ、当日は70名以上の参加・視聴がありました。2時間のワークショップ時間で4名の発表者が日頃の研究成果について発表を行いました。オーガナイザ・座長として富士電波工機(株) 仙田和章氏と京都大学 三谷友彦氏で行われました。

発表のタイトルと発表者は以下の通りとなります。

- 二次元二色温度計による新規マイクロ波吸収体の狭所温度分布解析 -2.45GHz マイクロ波における A14SiC4 の加熱挙動解析 藤井隆司、樫村京一郎(中部大学)
- ポスト壁導波路を用いたマイクロ波アプリケータの開発 岸原充佳 (岡山県立大学)
- マイクロ波による触媒反応促進効果の理解とその応用 椿 俊太郎(東京工業大学)

● マイクロ波加熱の特徴を活かした材料合成 福島 潤、滝澤博胤(東北大学)

今回のワークショップがオンライン開催されて良いと感じた点としましては、すべての発表の内容は録画されており、時間の都合などの理由でリアルタイム視聴できなかった人でも、有料ではありますがダイジェスト版のダウンロードや視聴できるようになっており、時間や場所の拘束が無くもう一度視聴できるところは、オンライン開催ならではの利点であると感じました。

次年度以降も、マイクロ波加熱応用分野の裾野を拡大するために、このようなワークショップへの参加を若手部会の活動として貢献できればと考えています。

最後に、多忙にも関わらず今回の MWE 2020 へ若手部会 WG としての参加のお話をいただき、調整いただきました京都大学 三谷友彦氏と実行委員の皆様と事務調整いただきました JEMEA 事務局佐藤容子氏の献身的な貢献に感謝致します。



MWE 2020 Web ページ(https://apmc-mwe.org/mwe2020/)